

協調性検査（協調運動機能評価）記録シート

条件をそろえて実施し、所見を「観察事実 → 限定的な解釈 → 次の確認」の順で記録します。

単独所見だけで小脳性・感覚性などを断定せず、筋力・感覚・疼痛・視覚・理解力、姿勢・歩行所見と照合してください。

患者ID		評価日	
評価者		場所	
主疾患・経過		体調・補助具	

1. 検査前確認と実施条件

検査前確認	☐ 指示理解・注意持続 ☐ 検査肢位を保持 ☐ 目標を視認		急な変化： ☐ なし ☐ あり → 報告
影響因子	☐ 筋力低下 ☐ 可動域制限 ☐ 疼痛 ☐ 感覚障害 ☐ 視覚障害 ☐ 失行・無視 ☐ 不随意運動		
実施条件	姿勢： ☐ 座位 ☐ 背臥位 ☐ 他	視覚： ☐ 開眼 ☐ 閉眼	速度： ☐ 自己選択 ☐ 速度変化
比較条件	距離・開始位置： _____	反復：右 _____ 回 / 左 _____ 回	疲労・体調：_____

2. 代表的な3検査の実施記録

検査	固定した条件	観察所見	具体的記録・次の確認
指鼻指試験 上肢の目標到達	姿勢：_____ 視覚： ☐ 開眼 ☐ 閉眼 距離・回数：_____	☐ 到達誤差 ☐ 軌道ずれ ☐ 運動分解 ☐ 企図振戦 ☐ 修正あり ☐ 左右差	_____ _____ _____
反復拮抗運動 切り替え・リズム	課題：_____ 速度： ☐ 自己選択 ☐ 変化 反復時間：_____	☐ 速度低下 ☐ リズム不良 ☐ 振幅不均一 ☐ 左右差 ☐ 反復で崩れる ☐ 疲労影響	_____ _____ _____
踵膝脛試験 下肢の到達・軌道	姿勢：_____ 視覚： ☐ 開眼 ☐ 閉眼 左右・回数：_____	☐ 膝への到達誤差 ☐ 脛から逸脱 ☐ 運動分解 ☐ 振戦 ☐ 左右差	_____ _____ _____

3. 総合整理

観察事実	_____ _____
限定的な解釈	_____ _____
次に確認	☐ 筋力 ☐ 可動域・疼痛 ☐ 位置覚・振動覚 ☐ 眼球運動 ☐ 構音 ☐ 体幹・立位 ☐ 歩行 ☐ 報告・相談

4. 再評価メモ

前回との条件差・新規イベント・所見の変化：
